

しおかぜ



今年もインフルエンザの季節がやってきました。
早めの対策を！

インフルエンザ 予防接種が始まりました！

✿ インフルエンザについて

インフルエンザは普通のかぜとは原因となるウイルスが異なります。インフルエンザは急な発熱が特徴で、筋肉痛・関節痛などの全身症状も強く出ます。健康な若年者ならば通常は1週間ほどで治癒するといわれています。しかし65歳以上の高齢者がかかると重症化の可能性が高く肺炎などを併発するなど合併症に十分な注意が必要です。とくに慢性肺疾患・心疾患・腎疾患や糖尿病などの代謝疾患を持っている方はハイリスク群とされています。これらの方は日ごろの予防に心がけるだけでなく、重症化を防ぐためにも医師と相談の上ワクチンを接種することが望ましいと考えられています。

✿ 予防接種について



インフルエンザワクチンは接種してから効果を発揮するまで約2週間かかります。このため流行時期に先立ち接種すること



が大切になります。ワクチン接種は大人は1回です。接種当日の入浴はかまいませんが、激しい運動は控えてください。

✿ 予防接種の受け方

- ・予防接種は原則予約制です。(予約は電話でも可能です。23-0561:健診受付まで)
- ・当院では小児の接種は受付けていません。
- ・当日 37.5℃以上の熱がある人、現在病気やアレルギーのある人、以前予防接種で具合が悪くなった人などは接種できないことがあります。事前にこれらを医師に相談してください。
- ・費用など詳しいことは検診係までお気軽に。

✿ インフルエンザにかかったら

有効な抗インフルエンザウイルス薬が開発されています。48時間以内の治療開始が効果的といわれており、医師の診断を受け早期に治療を開始しましょう！薬には健康保険が適応されません。



診療科訪問：耳鼻咽喉科

市民の皆様からご要望が多かった耳鼻咽喉科の外来診療が8月から始まりました。新たに赴任された2人の担当医師に簡単な自己紹介をしていただき、代表的な耳鼻科疾患についてひとつずつ解説をお願いしました。



遠藤 誠



高峰 敦

《自己紹介》

東京の下町で生まれ、現在もそこから通っています。以前、旭中央病院の耳鼻咽喉科に勤務させていただいた経験もあり、銚子には大変親しみを感じておりました。近隣の耳鼻咽喉科の先生方との連携を大切にし、患者様への丁寧な説明と根拠に基づいた医療の実践を心がけたいと考えます。どうぞ安心してお越しください。

《慢性副鼻腔炎について》



かつては「ちくのう症」と呼ばれていた病気ですが、現在は慢性（鼻）鼻腔炎というのが正式名です。また病名だけでなく診断・治療法も一昔前とはかなり変わりました。昔はレントゲンを頼りに診断し、治療も歯肉のところを切って「ベローンと持ちあげて…恐ろしい！」と患者さん達

に形容される手術療法が主体でした。このため耳鼻科は苦しい、ツライものだといった印象をお持ちの方も多いのではないでしょうか？

現在の診断・治療法について触れたいと思います。まず、「鼻がつまっていて苦しい」「鼻汁が止まらない」「頭が重い」「咳や痰が多い」「においがわからない」などの症状が代表的です。

このような症状が数か月以上続く場合には、慢性副鼻腔炎が疑われます。原因としては体質、鼻腔形態、喫煙などさまざまなものが考えられます。診断の際には詳細な問診とアレルギーに関する血液検査、内視鏡検査、CTなどの検査を行います。治療法には抗菌薬を服用する保存療法と、内視鏡を用いた手術療法があり、症例に応じて選択していきます。（現在手術は必要に応じて専門機関へご紹介させていただきます。）

《自己紹介》

初めまして、耳鼻咽喉科外来診療を担当する事になりました高峰敦と申します。90年代にお隣の旭中央総合病院に2年ほど勤務し、休日などよく銚子に遊びに来たものでした。現在は埼玉県某の病院に常勤の科長として勤務しておりますが、この度以前のご縁で当院の外来をお手伝いする事になりました。昔お伺いしたお寿司屋さんを再び訪れるなど、久しぶりの銚子ライフを満喫しております。微力では御座いますが、地域にとってお役に立てますよう尽力する所存でございます。

《めまいについて》

めまいは、日常診療の中で訴えをお聞きすることがかなり多い症状ですが、その原因は内耳障害、脳血管障害、不整脈など実に様々です。めまい自体の性質として、ぐるぐる回る



（回転性）ふらふらする（浮動性）など、それに伴う症状として意識消失、手足やのどの麻痺、耳鳴り難聴、頭痛など、同じめまいといっても千差万別です。ほとんどのめまいは生命の危険を伴わないものですが、初めてめまい発作を起こした患者さんの不安はとて大きいものですし、わずかではありますが生命の危険を伴うめまいもあり得ます。最初にお近くの医療機関で治療を受けることはもちろんですが、長く続くめまい、耳鳴り難聴を伴うめまい、体の平衡バランスが極端に悪くなるふらつきなどは、是非専門である耳鼻科で詳しく診療を受けることをおすすめします。

がん検診のご案内 乳がん検診

日本人女性の25人に1人が乳がんにかかる
といわれています。最近、女性の臓器別で

のがんの罹患率第1位になりました。しかし、
乳がんは早期に発見できれば90%以上完
治すると言われています。そして実際に簡単
な検査によって早期発見が可能ながんなの
です。

2011年 10月16日(日) J.M.S
乳がんマンモグラフィ検査が受けられる日曜日

ジャパン・マンモグラフィセンター



乳がん検診を受けるために

認定資格を持つ女性スタッフによる乳がん検診
を行っています。一般的に、マンモグラフィを受診
していただくのは40歳以上からとなりますが、銚
子市では幅広い年代の方に乳がん検診を受けて
頂きたいと考えており、40歳未満の方でもX線
を使わず超音波で検査をする「乳腺エコー検査」を
実施しています。

検査は予約制です。受診希望日時をお電話で
予約していただき、検査時間に来院していただき
ます。

まず健診受付で乳がん検診を受診しに来たこと
を伝えてください。当日の検査の流れなどを説明
させていただきます。検査当日は事前に記入して
いただいた問診票をお持ちください。その日の体

調などをお伺いしま
す。その後、検査室
でマンモグラフィまた
は乳腺エコーの検査
を受けていただきます。
そして最後に実施
された検査結果をも
とに担当医師が診断
して、その結果をお
伝えます。

※現在、乳腺エコー
の枠に余裕がありま
す。30代の方はご検
討ください。

受付

問診

マンモグラフィ
乳腺エコー

診断

1. マンモグラフィ

X線を利用した乳房専用の
レントゲン撮影装置で
す。細胞の変化で起こる小
さな石灰化やしこりの影を
見つけます。

上半身はだかになってい
ただき、透明な板で乳房を
圧迫して撮影をします。撮
影時間は10分程度です。こ
の検査による放射線被ばく量
はととてもわずかです。



仰向けに寝てゼリーを
つけて検査します。検
査時間は20分程度で
す。X線を使用しないの
で被ばくはありません。



※当病院では、受付から検査終了まで
すべて女性スタッフが行っています。

2. 乳腺エコー

超音波を体内に向かって発信し、戻ってくる超音
波をコンピュータで画像化する検査です。診察台に



私たちがお待ちしております！

お知らせ

・10/16 はマンモグラフィーサンデーです

J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)は乳がんの早期発見や患者・家族の支援を行っているNPO法人です。マンモグラフィーサンデーとは子育て・介護・仕事・家事で平日病院へ行けない女性のために、10月第3日曜日に乳がん検診を行うものです。今回は費用も格安に設定しました。この機会に検査を受けてみませんか？事前予約が必要です。(お問合せ:健診室 23-0561 まで)



・ヤマザキショップ院内店がオープン

病院売店が7月からヤマザキショップとして再開しています。場所はエレベーター前で少しわかりにくいですが、お弁当やお菓子、雑誌や日常必需品など多くの品揃えで皆様をお待ちしています。



・10/10、12/30 は休日当番病院です

銚子市医師会では休日は当番病院を決めて、救急患者の診療を行っています。10/10、12/30 は当院が当番にあたっており、内科・外科・小児科の3人の医師で対応いたします。



・市民公開講座のお知らせ

「増えている前立腺がん」 11/5(土)14:30～
銚子商工会議所 1F 大ホールにて
内藤善文泌尿器科部長が参加します。お問い合わせは「銚子市民セミナー」事務局 0120-013-425 まで

・補聴器相談のお知らせ

耳鼻咽喉科外来開始にともない補聴器相談が始まりました。これまで補聴器を使ったことのない方や合わなかった方など一度相談してみたいかがでしょうか？第1・3・5火曜日の14時～(予約制になっています)



・診療(受付)時間について

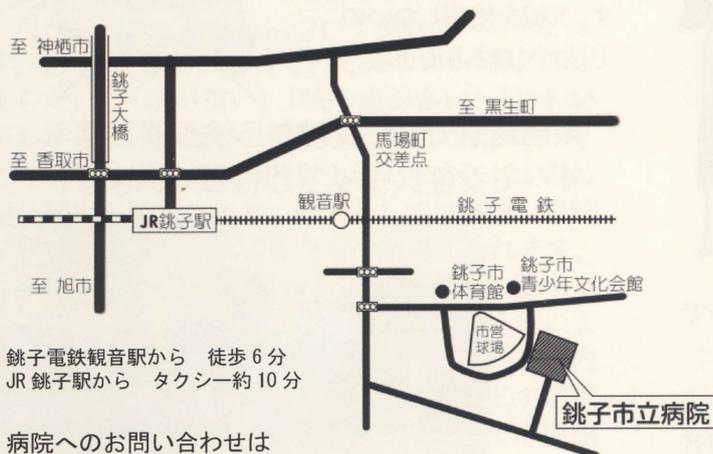
※土曜日の診療は休止になりました。
午前 9:00 ～ 12:00 (8:30 ～ 11:30)
午後 13:00 ～ 16:30 (12:30 ～ 16:00)

・面会時間について



入院患者様の安静・治療のため面会時間をお守りください。
平日 14:00 ～ 20:00
土・日・祝日 12:00 ～ 20:00

病院へのアクセス



銚子電鉄観音駅から 徒歩6分
JR 銚子駅から タクシー約10分

病院へのお問い合わせは
23-0011 まで

編集後記

しおかぜも第2号になります。病院と市民の皆様をつなぐ架け橋になれたらと思い編集しています。本誌を読まれた感想などをございましたら、編集部へご連絡いただければ幸いです。

広報委員：宇野澤、岩出、根本、新野、佐々、厨川、川崎、堀米、栗橋、佐藤、白濱

しおかぜ
2011 秋号

平成 23 年 10 月 1 日発行 第 2 号

編集・発行
〒288-0031
千葉県銚子市前宿町 597
銚子市立病院 広報委員会
TEL: 0479-23-0011
FAX: 0479-25-5375